

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、28～29℃台を示し、やや低い～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、4.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の9%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり42kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり30kgの水揚げで、前週の19%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり695kgの水揚げで、前週の3倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、アオリイカなどが1日1統当たり6kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり65kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり199kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり49kgの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/29～8/4の7日間）沖合イカ釣、船凍船は引き続き大和堆付近に出漁。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～新潟沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）2日延5隻、総計216箱、1航海最高56箱、平均43.2箱。

スルメイカ（20～40入）62箱、ヤリイカ（2～3立半）154箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

次回の漁海況週報は、令和3年8月20日（金）の発行になります。